

3月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



3/3 キムスゲームとちょっとかわった似顔絵を描き、工作としてCDとビー玉を使ったコマ作りをしました。そのまま飾ってもきれいだけど、回ると



味のある模様が浮き上がります。自分の作品を発表し、他の人の作品も見ました。おやつには雛あられと鈴カステラでひな祭り気分も味わいました。

3/17 2019年度最後のビーバー隊の活動として「お別れハイク」に行きました。目的地は両国、錦糸町エリア。午前中はスカイツリーを見なが



ら歩き、午後は本所防災館を訪れました。雨具を着ての暴風雨体験、しゃがんで歩く煙体験、揺れる部屋での地震体験ができました。ここではボーイスカウトのモットー「そなえよつねに」につながる話がいっぱいありました。



カブ(CS)隊



3/3 舎営の説明を隊長から受けた後、今月も先月に引き続きチャレンジ章に取り組みました。まずは「災害救助員」の細目の消火器の使い方。実物が使えなかったのでビデオ講習。音量が小さくてちょっとわかりにくかったね。その後は「ハイカー」の細目。8方位の確認をしました。

3/17 春の舎営に備えて、提灯工作の準備。型紙を使って台紙に提灯の形(展開図)を写し取りました。クマスカウトは「フィールドマスター」取得のために、ナイフを使って工作をしました。このところ室内にばかりいたので、後半は外で体を動かしました。ロープ結びの復習を



した後は、久しぶりの“しっぽ取り“大会。”しっぽ取り“はひょっとしたら、この年代では初めてだったかも・・・。

3/23-24 カブ隊最後の集会。春の舎営に出かけました。行先は栃木県栃木市太平山の太平少年自然の家です。太平山中を下ったり登ったりと、歩くことの多い二日間でした。初日は自然観察ハイクや、お手製提灯の明かりだけを



頼りに森林の中を歩いたナイトハイク。ナイトハイクでは明かりの大切さを体感し、栃木平野の夜景の美しさを堪能しました。二日目は太平山山頂を越えてから大中寺へ降り、そこからフォレストアドベンチャー栃木へ向かいました。

フォレストアドベンチャーでは高い木々の間に架かる吊橋のようなところを渡ったり、ムササビのように空中を飛んだりしました。結構、高い場所・揺れる場所での活動に、恐々のスカウトが居る一方、手放して木々を渡る（勿論、命綱は着けています）猛者もいたり、スカウトの動きはさまざまでしたが、全員途中リタイアすることなく、全ポイントをクリアできました。



3/30-31 月の輪の最後の活動として、船橋市の青少年野外活動センターで行われたボーイ隊の春季キャンプに参加しました。ボーイ隊に合流後、雨にも見舞われ、普段とは異なるプログラム、メンバーに戸惑う様子もありましたが、ボーイ隊では自らやりたいことを取り組める分、これまでとは責任の重さが全くことなること、進んで役割を果たさないと物事が本当に進まないことを体感し



てくれたと思います。さまざまな体験を最後は全員で乗り越えてくれました。今後のボーイ隊での活躍が楽しみです。

ボーイ(BS)隊



3/3 なかのゼロで班会議を行いました。春キャンプで挑戦したい課題設定を行いました。キャンプクラフトと野外調理に各班ごとに目標を設定しました。午後には、Tくんが1級団面接に臨みました。

3/10 先輩のVSFくんが富士章のプロジェクト発表に参加したので、その見学に4名のスカウトが参加しました。東京連盟の富士スカウトの発表は今後の目標設定の参考にもなりました。午後は保護者会を開催し秋以降の活動報告を行いました。

3/15 Kくんが菊章の地区面接に臨みました。成果として2級ハイクと1級キャンプの報告書を提出しました。これについて苦心したことや信仰についての質問があり、立派に受け答えをし、菊章が認証されました。

3/17 翌週のキャンプに向けて、備品整理を行いました。月の輪スカウトの参加も見こんで班備品を揃えました。

午後は、月の輪コーチとして奉仕も行いました。

3/29-31 船橋市の青少年野外活動センターで春季キャンプを行いました。各班2名ずつと少ないながらも手早く設営しました。2日目からはカブ隊月の輪スカウトが合流しました。メインは1年間の活動を締めくくる班対抗の「野外工作」と「野外調理」競技。トラ班は物干し台とドーナツ、フェニックス班はハンモックと焼きリンゴ。どちらも形にはなっていないが、出来栄となりました。事前の計画と準備が勝ったトラ班に優秀班の評価が授与されました。また、昨年までカブだった6年生スカウトが、先輩として月の輪スカウトを指



導する姿が頼もしく感じられました。

ベンチャー(VS)隊



3/2 さくら館(城山ふれあいの家・中野1丁目)で行われた「さくら館まつり」にTくんが参加しました。

3/3 ビーバー隊の集会にSくん、カブ隊の集会にTくんが奉仕参加しました。集会后、Tくんが隼スカウト章団面接に臨みました。

3/10 今年度、富士スカウト章を受章したスカウトのための富士顕彰の集いが東京連盟主催で行われ、Fくんが参加しました。午前中にはプロジェクトの発表を行い、東京スカウトクラブからバックルの表彰がありました。午後は場所を変えて食事会に参加。高校卒業して「社交の場」デビューと位置づけられた会場で、堂々と自己PRしました。



3/15 Tくんが隼スカウト章の地区面接に臨みました。

3/22 Tくんが地区での隼章の伝達式に臨みました。

隼スカウト章が復活してから、8団では4人目の受章です。

3/23-24 カブ隊キャンプにTくんが参加



しました。

3/29-31 ボーイ隊・月の輪スカウトキャンプに福田くん、Tくん、Sくんが奉仕参加しました。ボーイ隊キャンプのプログラムを支えると共に、3人にとって最後のベンチャー隊会議を、思い出深い船橋青少年キャンプ



場で実施しました。長いようで短かったベンチャースカウトとしての活動を振り返り、自らの意見を共有し、今年度の活動を締めくくりました。

ローバー(RS)隊



3/29 あすなろ地区ローバー総会が行われました。中野8団からはMさんが参加しました。

3月のスカウト進歩情報

BVS:	K. H. さん	小枝章2本目、1年章
CS:	R. K. さん	クリア章 くま チャレンジ章「動物愛護」「チームスポーツ選手」「収集家」
	M. A. さん	クリア章 くま
	R. T. さん	クリア章 うさぎ チャレンジ章「ハイカー」「収集家」
	Y. S. さん	クリア章 うさぎ チャレンジ章「ハイカー」「収集家」
	K. M. さん	チャレンジ章「国際」「動物愛護」「手伝い」「コンピューター博士」「修理博士」「技術博士」「読書家」「フィールドマスター」
	H. O. さん	チャレンジ章「手伝い」「災害救助員」「自然観察官」「ハイカー」「地質学者」「コンピューター博士」
	M. O. さん	チャレンジ章「国際」「市民」「動物愛護」「救急博士」「フィールドマスター」
	A. Y. さん	チャレンジ章「手伝い」「災害救助員」「ハイカー」「救急博士」「画家」
	J. H. くん	チャレンジ章「自然観察官」「コンピューター博士」「修理博士」「収集家」「読書家」
	M. M. さん	チャレンジ章「自然観察官」「ハイカー」「収集家」「音楽家」
	J. Y. くん	チャレンジ章「災害救助員」「ハイカー」「水泳選手」「収集家」
	I. T. くん	チャレンジ章「災害救助員」「ハイカー」「特技博士」
	R. U. くん	チャレンジ章「水泳選手」「フィールドマスター」
	Y. K. くん	チャレンジ章「手伝い」「ハイカー」
	H. T. さん	チャレンジ章「手伝い」「ハイカー」
	N. N. さん	チャレンジ章「ハイカー」「音楽家」
	H. M. くん	チャレンジ章「フィールドマスター」
	K. K. くん	チャレンジ章「チームスポーツ選手」
	E. S. くん	チャレンジ章「ハイカー」
	Y. S. くん	チャレンジ章「ハイカー」
	M. S. さん	チャレンジ章「ハイカー」
	N. T. くん	チャレンジ章「ハイカー」
	M. H. さん	チャレンジ章「ハイカー」
BS:	R. K. くん	菊スカウト章
VS:	M. T. くん	隼スカウト章
	Y. F. くん	宗教章「神道章」

ちよつぽつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

新年度には、指導者の“人事異動”もあります。本人の希望や各隊のバランスを考えて、団委員会で決定されます。また、ローバー隊に上進したスカウトは、指導者としても活動するようになります。今年も新しいローバースカウトが副長補に任命されました。副長になるまでには指導者向け講習の初歩、ボーイスカウト講習会とスカウトキャンプ研修会を履修します。その後、隊指導者の研修(ウッドバッチ研修所)に参加します。

ボーイスカウト講習会は、指導者に限らず、スカウト活動を知っていただく機会として広く参加を募集しています。お子さんの活動を理解し支えることができるよう、保護者の皆さまにも参加していただくことにしています。年2回春と秋に開催されますので、ご都合のよろしい時にお誘いあわせの上、ご参加ください。特にデンリーダーを引き受けてくださった方は参加をお願いします。8団の指導者も講習会講師やスタッフとして複数名奉仕参加しています。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

リーダーの活動

- 3/3 東京マラソン奉仕
- 3/3 団会議
- 3/7 地区円卓会議
- 3/10 富士顕彰の集い
- 3/22 地区委員会
- 3/25 地区コミ会議
- 3/25 地区各種委員会
- 3/28 地区団委員長会議



* 活動の写真はホームページにアップされています。個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。遅れがちな点をご容赦ください。

<http://bsn8.world.coocan.jp/>

スカウト豆知識

「活動の特徴」

スカウト活動では、年齢に応じていくつかの部門に分かれています。「スカウト運動の始まり」で紹介した最初に活動を始めた少年達は、ローティーン、つまり現在のボーイ隊の年代にあたります。スカウト活動全体を「ボーイスカウト」と呼び、部門の名前が「ボーイ隊」その部門に所属するスカウトを「ボーイスカウト」と呼ぶように、ボーイ隊の活動は、ボーイスカウト活動の根幹に当たります。ボーイ隊に上進するときに「ちかいをたてる」のも、ボーイ隊以上が同じベージュ色の制服になるのも、ボーイ隊こそが、創始者ベーデン=パウエルが最初に目指した「よりよい社会人となるべく導く」思春期の少年少女たちだからです。カブ隊やビーバー隊は、ボーイスカウトになるための準備期間と言えます。

ボーイ隊の活動の大きな特徴は「班制度」と「進歩制度」です。「班制度」は、6～8名ごとに班を作り、約束(規律)を大切に、相互に協力しあい、それぞれのスカウトが役務分担によって自分の担当についてリーダーシップを発揮する機会が得られるように編成しています。「社会性」を体験し、学ぶ機会となっています。「進歩制度」は、その年代で獲得してほしい知識・技能・心構えを必須要素とし、個々のスカウトが興味を持ったり関心のあることを選択要素として、自らが課題(目標)に対して達成計画を立て、自修して、それを乗り越えるという「自発活動」によるものです。そしてその挑戦を応援するように、目標を達成するそれぞれの段階で獲得できるバッジが用意されています。この仕組みを「バッジ・システム」と呼んでいます。この2つの制度はカブ隊の活動においても、年代に合わせた形で導入されています。